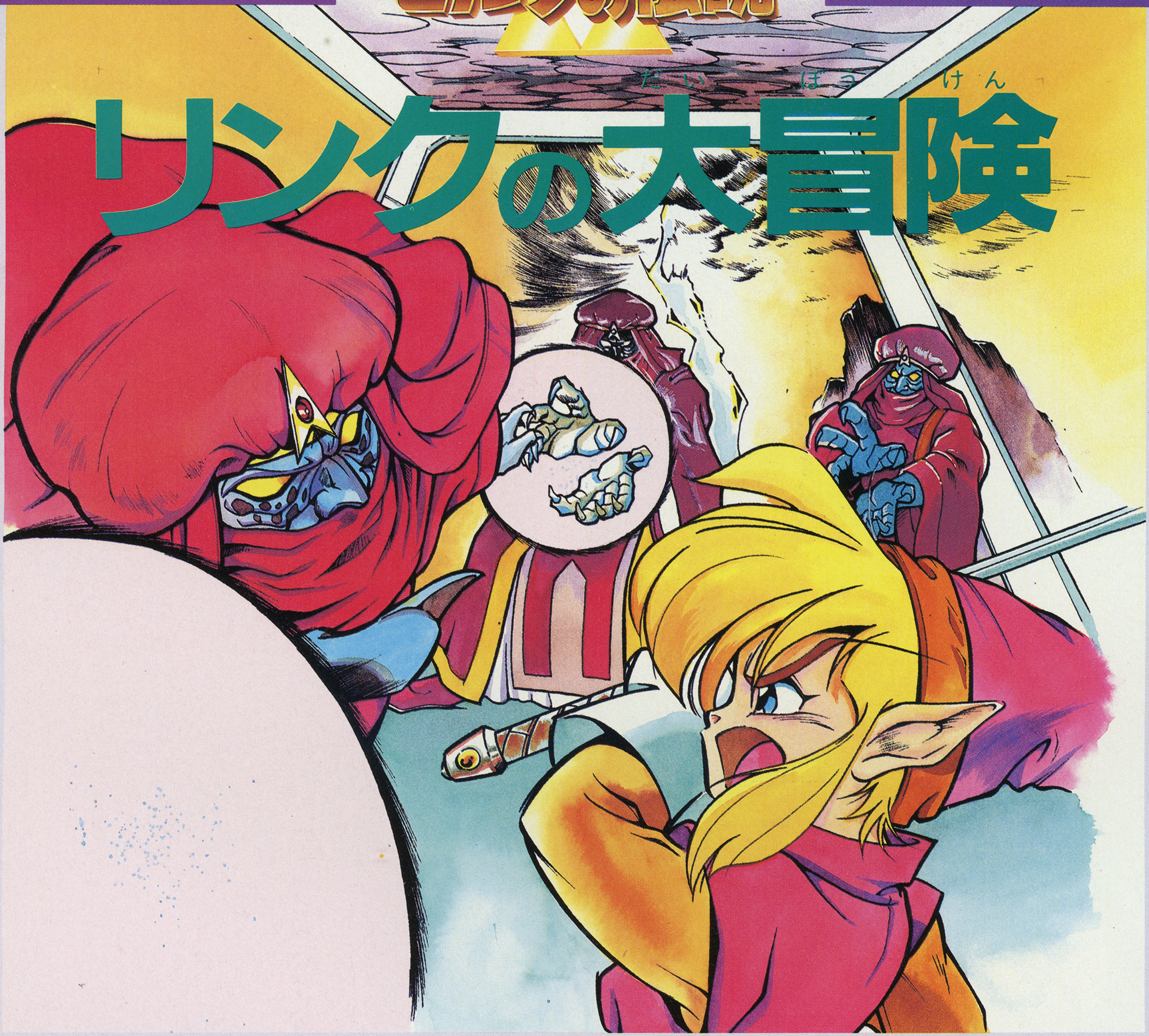
リンクの大冒険



イラスト／斉藤純一郎

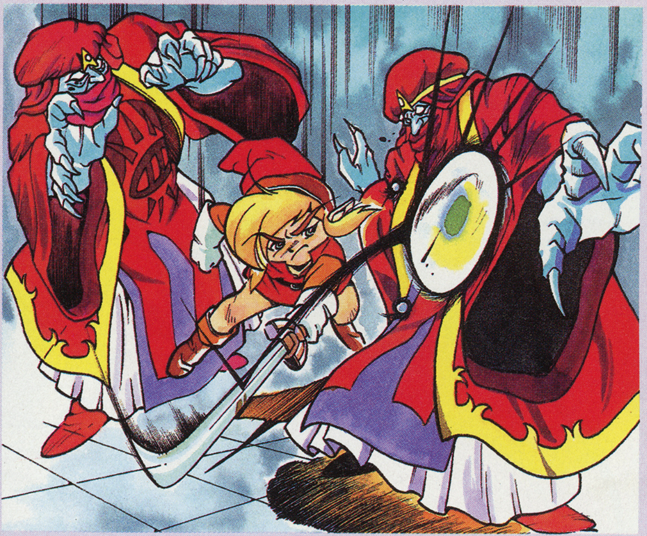
©NINTENDO

ついに、ガノンの とうに
たどりついた リンク。しかし、
そこで まって いたのは、
たおした はずの アグニムでした。

1 「ふふふ、この ぶんしんの
じゅつで おまえを
たおして やる。」

じゅもんを となえると、
アグニムの からだが
三つに わかれました。
「いったい どれが 本もの
なんだ？」

あい手が 三人では、
リンクも まほうを よける
のが せいいっぱいです。
「リンク、かげを 見るの
です。やみの せかいに
すむ ものは、じゃあくな
くろい かげを もって
いる はずです。」
ゼルダひめの こえが、
リンクの こころに
ひびきました。



②「そうか、かげが　あるのが
本ものだ！」
リンクは、マスターソードで
まほうを、はねかえしました。
それが　みごと　アグニムに
めい中すると、二つの　ぶんしんも
いっしょに　きえて　しまいました。
「かっ、かった！」
リンクは、その　ばに　すわりこ
んで　しまいました。その　とき、
たおれた　アグニムの　かげが、
へや　いちめんに　ひろがり、
リンクを　つつみはじめました。
「わたしは　やみの　せかいの　王
ガノン。リンクよ、おまえの
力を　みくびって　いたようだ。」
くろい　かげに　しばられて、
リンクは　うごけません。
「もう　すぐ、この　とうは
くずれおちる。リンク、おまえの
さいごだ。これで　せかいは
わたしの　ものだ。」

③はげしい じひびきが して、とうが くずれはじめました。

ガノンの かげは、まどの そとへ とびさり、リンクだけが とりのこされて しまいました。

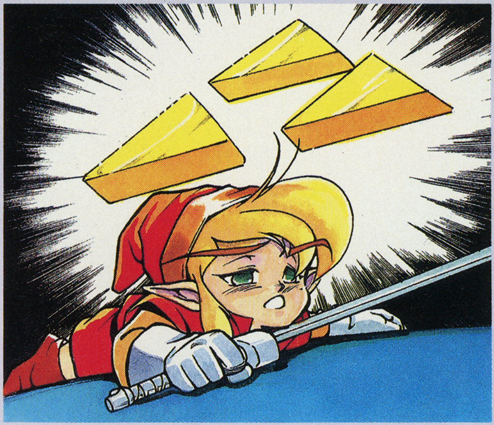
「う、うごけない……。」

その とき、どこからともなく オカリナの 音が きこえて くると、あの ふしぎな とりが とんで きたのです。

白い とりは、リンクを せ中に のせて、そとへ とび出しました。そして、すごい スピードで ガノンの かげを おいかけました。のを こえ、森を こえ、ガノンの かげが にげこんだ のは、山のように 大きな ピラミッドの 中でした。

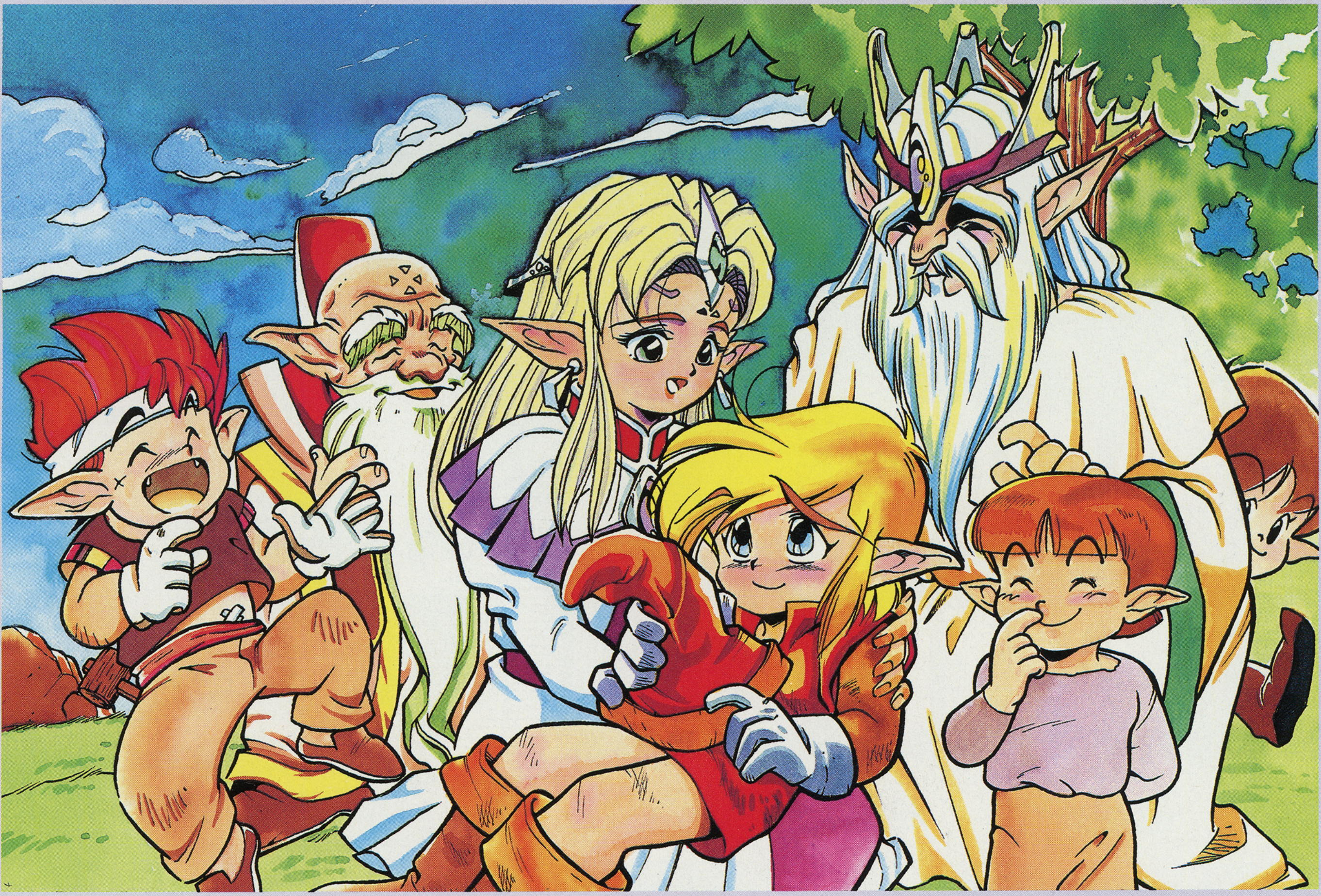
ここが、ガノンの すみか だったのです。

4 「どこだ、ガノン。出(で)て　こい！」
ピラミッドの　中(なか)は　まっくらです。
「うわっ!!」
とつぜん、火(ひ)の　たまが　リンクを
おそって　きました。
「ふふふ、この　くらやみの　中(なか)で、
わたしと　たたかえるか!?」
ガノンの　こえが　ひびきます。
しかし、どこに　いるのか、
まったく　わかりません。
「このままでは、やられて　しまう。」
リンクは、ひっしの　おもいで
ボンバーの　まほうを　となえます。
へやじゅうに　ほのおが　とびちり
ました。その　とき、いっしゅん
ガノンの　すがたが　見(み)えたのです。
「い、いまだ!!」
リンクは、ぎんの　やを　ガノンに
むかって　はなちました。
「ぎゃあああ…」
ぎんの　やは　ガノンの　ひたいを
つらぬいたのです。
「やった。ガノンを　たおした。」



5 すると、へやの おくが 金いろに かがやきはじめました。
「トライフォースだ。これで ハイラルに へいわが もどる…。」
リンクは 力つきて たおれて しまいました。

6「リンク、リンク…。」
リンクは、ゼルダひめの ひざの 上で ゆっくりと 目を さましました。
「ここは どこ?」
二人の まわりには、王さまと ハイラルじゅうの 人びとが いました。
「あなたの おかげで、ハイラルは すくわれました。ありがとう リンク。」
ゼルダひめに ほおに キスされた リンクは、まっ赤に なって しまいました。
「ゆうしゃの くせに、リンクは はずかしがりやの ようじゃの。」
と、王さまが いうと、みんな たのしそうに わらいました。



おわり

10月ごうから たのしい よみもの「スーパーマリオと ゆかいな なかまたち」が はじまるよ。おたのしみに!